地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和2年2月20日
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
広島県生活交通対策協議会	広島電鉄(株) 湯来系統	五日市駅南口～杉並台団地～湯来ロッジ前	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定の中で関係自治体等と連携し、公共交通ネットワークの形成に取り組んでもらいたい。 リアルタイム運行情報を提供するバス到着時刻検索サイト「Bus　it」も利用者に浸透してきており、SNS等で観光・アクセス情報を積極的にPRするなど、利用増加に繋がる施策を展開してもらいたい。	
	広島電鉄(株) 上栗栖系統	廿日市市役所前駅～上栗栖	系統の適切な計画を行った。	A	A	再編実施計画に基づき、系統の適切な計画について実行した。		
	広島電鉄(株) 三段峡系統	広島バスセンター～可部・加計～三段峡	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 三段峡系統	広島バスセンター～広島IC・戸河内IC～三段峡	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 琴谷系統	広島バスセンター～安佐営業所～琴谷車庫	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	B	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 今吉田系統	広島バスセンター～可部小浜・大釘～今吉田公民館	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 矢野フィーダー系統	済生会広島病院前～矢野ﾆｭｰﾀｳﾝ広熊道路～絵下山入口	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) さくら（東循環）系統	廿日市市役所前駅～廿日市市役所前駅	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 津田系統	廿日市市役所前駅～津田	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	再編実施計画に基づき、系統の適切な計画について実行した。引き続き、今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 阿戸系統	熊野営業所～阿戸学校	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	芸陽バス(株) 瀬野・広島系統	宮の前～海田～広島ﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	引き続き乗務員不足等の不安要素がある中、共通定期券導入など取組み、当路線では収支率が大きく改善された。	A	A	乗務員不足解消のため、乗務員確保のPRが先行し、路線のPRは不足している。路線バスについてもPRを行う。	2系統乗務員不足の関係で計画どおり運行が確保できていない。それを除けば各系統は計画どおり適切に運行されている。 収支改善している系統もあるが、今後も系統を維持していくには、乗務員不足は喫緊の課題であり、乗務員確保や路線再編を含め、各自治体と協議し、利用者の確保と利便向上に努めて頂きたい。	
	芸陽バス(株) 東雲系統	宮の前～市役所前～広島ﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	引き続き乗務員不足等の不安要素がある中、共通定期券導入など取組み、当路線では収支率が大きく改善された。	A	A	乗務員不足解消のため、乗務員確保のPRが先行し、路線のPRは不足している。路線バスについてもPRを行う。		
	芸陽バス(株) 阿戸系統	海上側～一貫田～広島バスセンター	豪雨災害の影響で、阿戸ー瀬野駅間で折り返し運行を行っている。乗務員不足等の影響もあり、運行できていない。	C	C	2019.12.16より数便ではあるがが運行再開しており、再度利用者獲得を目指している。		
	芸陽バス(株) 西条・広島系統	西条駅前～瀬野駅～広島バスセンター	引き続き乗務員不足等の不安要素がある中、共通定期券導入など取組み、当路線では収支率が大きく改善された。	A	A	乗務員不足解消のため、乗務員確保のPRが先行し、路線のPRは不足している。路線バスについてもPRを行う。		
	芸陽バス(株) 西条・広島系統	八本松～海田～広島バスセンター	2019.3に運行時刻の見直しを行ったが、利用客が減少し収支率は1%減少した。利用状況を見ながら再度取り組みたい。	A	A	乗務員不足解消のため、乗務員確保のPRが先行し、路線のPRは不足している。路線バスについてもPRを行う。		
	芸陽バス(株) 西条・竹原系統	西条駅前～新庄～竹原駅	経路変更から2年経過。市街地循環バス運行開始より、競合区間で市街地循環バスと運賃を合わせる措置を行った(270円→200円)ため減収を予想したが、利用者数が増加し収支率が約8%向上した。	A	A	乗務員不足解消のため、乗務員確保のPRが先行し、路線のPRは不足している。路線バスについてもPRを行う。		
	芸陽バス(株) 竹原・三原系統	三原営業所～すなみ荘前～中通	ICカードでの対応はできていないが、平日限定の竹原地区周遊きっぷを2019.4より販売開始し好調。来年度も継続したい。収支率約9%増加。	A	A	期間限定で開始した周遊きっぷが好調であり、今後も周遊きっぷの継続を検討したい。		
	芸陽バス(株) 沼田東系統	三原営業所～沼田東団地上 本郷駅・松江～三原営業所	災害時に冠水し、沿線地区では再開発が停滞している印象。経路j変更等については取り組むことができていない。収支率横ばい。	A	A	ルート変更は三原市の協力が必須となるため、引き続き検討したい。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	芸陽バス(株) 白市・空港系統	ﾈｵﾎﾟﾘｽ北～白市駅・河内ｲﾝﾀｰ～広島空港	路線バス西条ー広島空港線の新設以降、利用者数は減少傾向だったが現在は再び利用者数が戻りつつある印象。利用者の間では特にSUICA、PASMOの利用率が高く、関東圏の利用者から受け入れられているものと考える。環境定期券制度での利用も若干数ながら確認できるようになった。（当路線での収支率はほぼ横ばい傾向だが、収入は計約410万円増加した）	A	A	広島県空港振興課の協力もあり、収入は増加している。引き続き収入増加＝利用者数増加を目指す。	（再掲） 2系統乗務員不足の関係で計画どおり運行が確保できていない。それを除けば各系統は計画どおり適切に運行されている。 収支改善している系統もあるが、今後も系統を維持していくには、乗務員不足は喫緊の課題であり、乗務員確保や路線再編を含め、各自治体と協議し、利用者の確保と利便向上に努めて頂きたい。	
	芸陽バス(株) 白市・空港系統	ﾈｵﾎﾟﾘｽ北～白市駅・元兼～広島空港		A	A	広島県空港振興課の協力もあり、収入は増加している。引き続き収入増加＝利用者数増加を目指す。		
	芸陽バス(株) 豊栄・広島系統	豊栄～久芳・高美が丘～広島バスセンター	当該年度は計画通り運行できたが、乗務員不足のため201.9.30を以って等路線は廃止となった。	A	A	2019.3.16ダイヤ改正以降の収入は下降した。9.30を以って廃止したが、地元から再開要望が根強く、廃止となった経緯が理解されていない。		
	芸陽バス(株) 豊栄・西条系統	豊栄～上戸野～西条駅前	ダイヤを一部見直ししたものの、沿線の過疎化の影響が大きく利用状況の改善には結びついていない。豊栄ー広島線の廃止等が今後影響するものと思われ、再度ダイヤの見直しが必要と考える。 沿線の賀茂北高校の募集定員が少なくなった影響か？特に通学利用が大きく減少している。朝夕の通勤通学時間帯は利用が堅調である反面、日中の利用者数が減少している。	A	A	豊栄・広島線の廃止を受けて、現状を研究した上でダイヤ設定を提案できていないため、研究の上で見直したい。		
	芸陽バス(株) 豊栄・西条系統	豊栄～高美が丘・西高屋駅～西条駅前		A	A			
	芸陽バス(株) 白市・空港系統	白市駅～河内インター～広島空港	上記　白市・空港線と同じ。	A	A	広島県空港振興課の協力もあり、収入は増加している。引き続き収入増加＝利用者数増加を目指す。		
	芸陽バス(株) 安芸南系統	海田市駅～矢野大浜 ﾌｼﾞｸﾞﾗﾝ安芸・矢野大浜～海田市駅	豪雨災害の影響で、貨物列車が走ることができない時期があり、トラック等の交通集中も影響した。定時性の観点から、災害前に計画していた運行回数から急きょ減便対応せざるを得なかった。	C	A	令和2年度計画では、現在運行している便数でネットワーク計画資料を作成しています。 2019.12.16ダイヤ改正を実施したので当面様子を見たい。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

別添2

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
広島県生活交通対策協議会	(株)中国バス 福山・市系統	福山駅前～中国中央病院～市出張所	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図った。 (61.04→74.97 +13.93)	A	A	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支率改善に努める。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 引き続き自治体と連携しながら利用実態に沿った生活交通の維持確保に取り組んで頂きたい。、関係自治体との協議を進めながら、利便性やサービスの向上に努めることで、地域に信頼される公共交通機関となることを目指して欲しい。	
	(株)中国バス 福山・府中系統	目崎車庫～福山駅前	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図った。 (50.91→59.38 +8.47)	A	A			
	(株)中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～甲山営業所	（H31年度より）	A	A			
	(株)中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～長江口・バイパス～甲山営業所	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図った。 (85.73→74.85 ▲10.88)	A	A			
	(株)中国バス 尾道・市系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～市(御調高校前)	（H31年度より）	A	A			
	(株)中国バス 甲山・三原系統	甲山営業所～林崎谷～三原駅前	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図った。 (51.77→63.86 +12.09)	A	A			
	(株)中国バス 三原・広島空港系統	三原駅前～三原桟橋～広島空港	他モード（鉄道・航空）との連絡に着目したダイヤ設定を実施した。 (67.72→67.68 ▲0.04)	A	A	他モード（鉄道・航空）との連絡に着目したダイヤ設定を行い、利用促進に努める。		
	鞆鉄道(株) 洗谷常石系統	福山駅前～洗谷～常石		A	B	幹線・支線の検討	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 利用ニーズの把握に努め、幹線・支線の検討を関係自治体等と協議を行いながら、各ダイヤの見直しを図り、加えて、利用促進を図る等の対策についても、検討を行っていただきたい。	
	鞆鉄道(株) 瀬戸千年系統	福山駅前～瀬戸～千年橋	31.4/1ﾀﾞｲﾔ改正	A	B	幹線・支線の検討		
	鞆鉄道(株) 小立千年系統	福山駅前～小立団地～千年橋	31.4/1ﾀﾞｲﾔ改正	A	B	幹線・支線の検討		
	鞆鉄道(株) 瀬戸常石系統	福山駅前～瀬戸～常石	31.4/1ﾀﾞｲﾔ改正	A	B	幹線・支線の検討		
	鞆鉄道(株) 阿伏兎系統	福山駅前～瀬戸～阿伏兎	31.4/1ﾀﾞｲﾔ改正	A	B	幹線・支線の検討		
	鞆鉄道(株) 福山内海系統	福山駅前～瀬戸～内海農協	31.4/1ﾀﾞｲﾔ改正	A	B	幹線・支線の検討		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	備北交通(株) 三城線	庄原バスセンター～ジョイフル・上四十貫～三次駅前	中型ノンステップバスに代替えを行い、総合病院への乗り入れ（庄原赤十字病院）を実施することができた。小学生・中学生を対象とした乗り放題パスを春休み、夏休み中に実施。	A	A	ノンステップバス、車いす対応可能の広報を実施する。小学生・中学生を対象とした乗り放題パスを継続実施する。	系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も利用ニーズを把握し、運行計画の改善に取り組んでもらい、継続的に自治体と協力し路線を維持していただきたい。	
	本四バス開発(株) 瀬戸田～因島線	瀬戸田港～内海造船・生口橋～土生港前	豪雨災害や台風による通行止めのため運休が生じたが、計画どおり事業は適切に実施された。	A	A	商業施設のバス停設置済み。	系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 商業施設へ来客者を把握し利用しやすい運行を継続していただきたい。	
	江田島バス(株) 4主系統	小用～江田島市役所前～大柿高校前	（H31年度より）	A	A	パスピーを導入して利便性の向上を図るとともに，江田島市とも協議しながら，利用実態等に沿ったダイヤの見直しを検討する。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 地理的特性上、船のダイヤとの調整は非常に重要なものであるため、今後も旅客船会社、関係自治体と密に連携してダイヤの見直しを検討してもらいたい	
	江田島バス(株) 14主系統	小用～大君～深江	引き続き検討を行った結果，今年度の導入はできなかったが，令和2年1月31日からパスピーを導入することとなった。	A	A			
	さんようバス(株) 1系統	太田―明石港・大串―太田	料金を一律100円としたことで、高齢者の病院通院・買い物等の利用の利用者数が安定してきている。利用しやすい時刻の微調整については、暫く現状の利用が定着するまで様子を見たい。高齢者のバスの乗り方教室等を通じて、バスの安全利用の啓発を継続したい。	A	A	一律100円運賃は、高齢者利用者のバス利用を促進するうえで経済的負担を軽減することにつながり、利用を促進できる。マイカー交通費はガソリン代等の高値で、バス利用の経済的メリットが十分あり、免許保有の有無を問わず、島内住民の利用促進を図っていきたい。	適切に運行されており評価できる。 他モードとの乗り継ぎについては、旅客にとっての利便性を確保する上では必要不可欠であり、関係者と協議の上、利便性の向上を図るよう努めていただきたい。	
	瀬戸内産交(株) 1系統	営農センター～安芸灘大橋～中国労災病院	観光案内所・美術館施設・観光施設等にバス時刻表を掲示した。所々　災害の傷跡は残っているが　少しずつ観光客も戻ってきている。	A	A	地域住民の意見等を聞き　バス停を増やし・運行や系統の再編・片側乗降から乗降フリーにする	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 観光客にも利用してもらえるよう、他モードとの乗り継ぎが円滑となるよう引き続き関係者と協議の上確実に実施されたい。	
	瀬戸内産交(株) 2系統	沖友天満宮～安芸灘大橋～中国労災病院	観光案内所・美術館施設・観光施設等にバス時刻表を掲示した。所々　災害の傷跡は残っているが　少しずつ観光客も戻ってきている。	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
広島県生活交通対策協議会	中国ジェイアールバス（株） C1	西条～広～呉	平成31年3月16日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A	利用実態に即したダイヤ設定を検討し、地域と連携した生活交通の維持を行う。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 東広島市における地域公共交通再編が遅延しているが、引き続き関係自治体等と協議のうえ、利用者利便、利用促進に取り組んでもらいたい。	
	中国ジェイアールバス（株） C2	西条～交叉点～呉	平成31年3月16日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A			
	中国ジェイアールバス（株） C109	賀茂医療センター口～庚・交叉点～呉	平成31年3月16日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A			
	中国ジェイアールバス（株） C161	西条～郷田～広島国際大学	平成31年3月16日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A			
	中国ジェイアールバス（株） C164	西条～庚～広島国際大学	平成31年3月16日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A			
	(株)井笠バスカンパニー 井原・福山系統	井原～御領～福山	経常収支率55%を確保できなかったものの、運送収入は対前年8.5%増加し、経常収支率は51.61%に向上した。（H30経常収支率 47.36%）	A	A	ICカード対応車両を増車し、利用者の利便性向上を図るとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施で収支率55%を目指す。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 他県と隣接する自治体間の地域交通を維持していく点で管内では他に無い路線であり、関係自治体と十分な協議を行い、利用者増に向けた対策を講じていただきたい。 またICカードが利用できる車両を今後増やしていくことで利用者利便の増進に取り組んで頂きたい。	
	(株)井笠バスカンパニー 篠坂・福山系統	篠坂～青葉台～福山	ダイヤ変更、利用促進に取り組んだが、運送収入は対前年3.4%減少し、人件費の増加等により経費が増加し、収支率70%を確保できなかった。	A	A	利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施で収支率70%を目指す。		
	(株)ささき観光 おおのハート（東西）	サンランド車庫～前空駅～広電阿品駅	令和2年3月ハートバスダイヤ改正にむけて　　地元住民などの意見を聞き整理しております。	A	A	ダイヤ改正実施で問題なく運行する。	適切に運行されており評価できる。 廿日市市内には複数の系統が混在していることから、他系統との接続などの整理は必要であり、また、わかりやすいバス路線にすることで、より利用しやすいバスの運行となるため、引き続き関係者で協議をしていただくことを期待する。	
	おのみちバス(株) 如水館線	尾道駅前～長江口～如水館前	6月上旬に実態調査を行い、利用状況の確認を 行った。	A	B	地域住民の利用状況を調査（実態調査、アンケートなど）し、沿線住民の要望・ダイヤ改正の必要性などを検証する。	計画どおり適切に運行されており評価できる。 市域住民の情報を的確に把握し、また、観光などのファクターも活用しながら、利用促進を進めていくことを期待したい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	石見交通(株) 広益線	石見交通本社前～（清流ライン高津川号）～広島新幹線口	・地域イベント等に参加しバスPRに努めた。 ・チラシ配布等を行い誘客に努めた。	A	A	引き続き、利用促進につながるようPRに努めたい	※島根件の記載と同様	
	広島電鉄(株) 湯来	新規　ノンステップ1両 既存　ノンステップ3両	引き続き関係自治体と検討する。	A	A	車両減価償却費 国の設定する導入目標に向けノンステップバスの代替を進める。	補助対象系統の運行に必要な車両について計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する現行目標は令和2年度までにノンステップバス割合が70%となっており、現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。	
	広島電鉄(株) 三段峡	新規　都市間連絡用1両	—	A	A			
	広島電鉄(株) 津田	既存　ノンステップ1両 　　　ワンステップ1両	引き続き関係自治体と検討する。	A	A			
	広島電鉄(株) 琴谷，今吉田	既存　ノンステップ2両 　　　ワンステップ1両	引き続き関係自治体と検討する。	A	A			
	芸陽バス（株） 瀬野・広島，東雲，阿戸，安芸南	既存　ワンステップ2台	低床車での運行が好評であり、成果があったものと考える。	A	A	車両減価償却費 広島営業所では現在、低床車ではない車両は、狭小地を運行するためのマイクロバス車両3台のみ。（高速バス車両を除く）。運行する道路形状、運行路線の特性上、低床車への代替が困難のため、既存の車両で引き続き運行する予定。		
	芸陽バス（株） 西条・広島，空港，白市・空港	新規　ノンステップ2台 既存　ノンステップ5台	低床車での運行が好評であり、成果があったものと考える。新型ノンステップ車は、出口付近の歪な床形状が原因で、大きな荷物を持って通り抜けることが困難であることがわかった。車両構造上、仕様の変更は難しく、運用方法等で対応できないか検討したい。	A	A	西条営業所では現在、低床車ではない車両は、狭小地を運行するためのマイクロバス車両1台、コミューター型車両2台。（高速バス車両を除く）。運行する道路形状、運行路線の特性上、低床車への代替が困難のため、既存の車両で引き続き運行する予定。		
	芸陽バス（株） 西条・竹原，竹原・三原，三原・本郷	新規　ノンステップ1台 既存　ノンステップ6台 既存　ワンステップ6台	低床車での運行が好評であり、成果があったものと考える。道路形状が原因でノンステップ車での運行が難しい箇所については、当面は現在使用している車両で運行可能。	A	A	竹原営業所・三原営業所では現在、低床車ではない車両は、大型ツーステップ車1台のみ。（高速バス車両を除く）		
	芸陽バス（株） 西条・豊栄	新規　ノンステップ1台 既存　ノンステップ2台 既存　ワンステップ2台	低床車での運行が好評であり、成果があったものと考える。別路線だが、低床車での通り抜けが困難な路線について経路変更を行った。諸葛営業所での運用が容易となり、今後の路線維持に有効と考える。	A	A	豊栄営業所では現在、低床車以外の車両は無い。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
広島県生活交通対策協議会	(株)中国バス 福山～中国中央病院～市出張所	既存　ノンステップ3両	今年度は車両更新を見送った。	A	A	車両減価償却費 今後はノンステップ及びワンステップ比率の向上に向け車両更新を計画する。	補助対象系統の運行に必要な車両について計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する現行目標は令和2年度までにノンステップバス割合が70%となっており、現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。	
	(株)中国バス 福山～目崎車庫	既存　ノンステップ9両	今年度は車両更新を見送った。	A	A			
	(株)中国バス 甲山～三原	既存　ノンステップ3両	今年度は車両更新を見送った。	A	A			
	(株)中国バス 三原～広島空港	既存　ノンステップ5両	今年度は車両更新を見送った。	A	A			
	(株)中国バス 尾道～甲山	既存　ノンステップ3両	―	A	A			
	鞆鉄道(株) 新川線	中型ノンステップ2両	不要なバスの廃車と代替	A	A	車両減価償却費 必要車両の見直しと平均車齢の年引き下げ		
	備北交通(株) 三城線	新規　ノンステップ2両 既存　ノンステップ4両		A	A	車両減価償却費 令和2年度の導入予定はない		
	江田島バス(株) 小用～大柿高校，小用～深江	既存　ノンステップ2両	ノンステップバスの運行率が高まり，利用者の利便性向上に寄与している。 今年度の導入はなかったが，令和元年10月にノンステップバス3両を導入した。	A	A	車両減価償却費 引き続き，江田島市と連携しながら計画的にノンステップバスを導入し，利用促進を図る。		
	中国ジェイアールバス(株) 西条～広～呉 西条～交叉点～呉 賀茂医療センター口～庚・交叉点～呉 西条～郷田～広島国際大学	新規　ノンステップ3両 既存　ノンステップ4両 　　　ワンステップ3両	引き続き補助制度を活用した提唱車両の導入の促進を図りたい。	A	A	車両減価償却費 引き続き補助制度を活用した低床車両の導入の促進を図りたい。		
	(株)井笠バスカンパニー 井原～福山	既存　ノンステップ2両	岡山地区において、新車2両を導入した。	A	A	車両減価償却費 今後も車両代替を進めていく。		
	石見交通(株) 広益線	新規　都市間連絡用2両 既存　都市間連絡用2両	計画どおり都市間連絡用バス2両の導入を実施した	A	A	車両減価償却費 車両の状態に注視しながら、今後も更新計画策定し、安全・安心な運行に努める（次年度は計画なし）		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和2年2月20日
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日ノ丸自動車(株) 中河原系統	鳥取駅～中河原	事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。	A	A	○このたびの国庫補助路線の輸送人員の大幅減少が一時的なものなのか来年度の実績を確認し見極める必要がある。 ○また、引き続き利用促進を図るため、R2年度の生活交通確保維持改善計画に記載している網計画の推進やインバウンドをはじめとした観光客需要を取り込むための各種事業を進めていき、可能な限りバス利用者の減少を抑制していく。	各系統は概ね計画どおり運行されており評価できる。 今年度は輸送人員が減少したことにより、目標を達成できていない系統が多くあるが、関係者が連携し、要因分析を行い利用促進に繋がるよう今後の事業展開にしていただきたい。英語版のバス路線図の作成など訪日外国人利用者の増加につながるものであり、過疎高齢化への対策と平行しながら今後も協議し、収支率が改善できるよう路線維持に努めて頂きたい。	
	日ノ丸自動車(株) 中河原系統	鳥取駅～中河原		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 智頭系統	鳥取駅～智頭駅		A	B			
	日ノ丸自動車(株) 用瀬系統	鳥取駅～用瀬		A	―			
	日ノ丸自動車(株) 鹿野系統	鳥取駅～鹿野営業所		A	B			
	日ノ丸自動車(株) 上井・三朝系統	倉吉駅～三朝車庫		A	B			
	日ノ丸自動車(株) 赤碕系統	倉吉駅～赤碕駅		A	B			
	日ノ丸自動車(株) 松江系統	米子駅～松江営業所		A	B			
	日ノ丸自動車(株) 境系統	米子駅～境港駅		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 境系統	米子駅～米子鬼太郎空港		A	A			
	日ノ丸自動車(株) 根雨系統	米子駅～日野病院前		A	A			
	日ノ丸自動車(株) 根雨系統	米子駅～谷川		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 市町村間循環線	米子駅～イオン東館～米子駅		A	―			
	日ノ丸自動車(株) 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～下鴨部日ノ丸車庫前		A	―			
	日ノ丸自動車(株) 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～下鴨部日ノ丸車庫前		A	―			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日本交通(株) 岩井系統	鳥取駅～蕪島	事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。	A	A	○このたびの国庫補助路線の輸送人員の大幅減少が一時的なものなのか来年度の実績を確認し見極める必要がある。 ○また、引き続き利用促進を図るため、R2年度の生活交通確保維持改善計画に記載している網計画の推進やインバウンドをはじめとした観光客需要を取り込むための各種事業を進めていき、可能な限りバス利用者の減少を抑制していく。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今年度は輸送人員が減少したことにより、目標を達成できていない系統が多くあるが、関係者が連携し、要因分析を行い利用促進に繋がるよう今後の事業展開にしていただきたい。英語版のバス路線図の作成など訪日外国人利用者の増加につながるものであり、過疎高齢化への対策と平行しながら今後も協議し、収支率が改善できるよう路線維持に努めて頂きたい。	
	日本交通(株) 岩井系統	鳥取駅～長谷橋		A	C			
	日本交通(株) 若桜系統	鳥取駅～若桜車庫		A	B			
	日本交通(株) 関金系統	倉吉BC～関金BC		A	C			
	日本交通(株) 関金系統	倉吉BC～明高		A	A			
	日本交通(株) 橋津系統	倉吉BC～石脇車庫		A	B			
	日本交通(株) 橋津系統	倉吉BC～小浜		A	C			
	日本交通(株) 松崎系統	倉吉BC～北方入口		A	B			
	日本交通(株) 北条系統	倉吉BC～由良駅入口		A	A			
	日本交通(株) 市町村間系統	米子駅～イオン東館～米子駅		A	—			
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	中河原、智頭、鹿野、上井/三朝、赤碕、境、根雨、市町村間循環、法勝寺	ノンステップバス6台購入	引き続き計画的にバリアフリー対応の車両へ更新した。	A	A	○目標は長期的なものとして適切であると判断。 ○一度に全ての車輌を更新することはできないため、引き続きバリアフリー対応の車両へ更新していく。	補助対象系統の運行に必要な車両について計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する現行目標は令和2年度までにノンステップバス割合が70％となっており、現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。	
	岩井、若桜、関金、橋津、松崎、北条、大山	ノンステップバス4台購入		A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和2年2月20日
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通確保対策協議会	一畑バス（株） 大東系統	一畑バス本社～大東駅	バスカード利用の促進（とってもお得バス事業）を図り、バスカード収入の増加に努めた。	A	A	引き続き使用済みバスカードを利用した利用促進（とってもお得バス利用事業）に努める。又、定期券利用の促進を図る。 定期的に時刻表等バスの情報を提供するとともに、バスの乗り方教室を開催するなど地元自治体との連携を図っていく。 バス位置情報の提供により利便性の向上を図る（令和2年3月実施予定）。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 利用者が減少傾向にある中で、ダイヤ（区間時分の見直し）改正や夏休み応援定期券による学生需要の取り込みなど、今後も利用促進策を関係者と協議し路線維持に努めて頂きたい。 系統によっては、観光客の二次交通として地域を結ぶ役割も期待する。	
	一畑バス（株） 万原系統	一畑バス本社～美保関ターミナル		A	A			
	一畑バス（株） 恵雲系統	一畑バス本社～恵曇		A	A			
	一畑バス（株） マリンゲート系統	一畑バス本社～マリンプラザ前		A	A			
	一畑バス（株） 御津系統	一畑バス本社～御津		A	B			
	一畑バス（株） 玉造系統	松江しんじ湖温泉～玉造温泉		A	A			
	一畑バス（株） 須佐系統	上塩冶車庫～出雲須佐	観光客の取り込みとして、イベント等の多客時における出雲市駅での切符発売・乗客案内及び続行便の運行を行い、増客への対応に努めた。	A	A	引き続き観光シーズンにおける多客時対応を行い、観光客の利便を図り利用促進に努める。 運行経路、運行時分の見直しを行い、適正な便数・ダイヤ設定をする。 バス位置情報の提供により利便性の向上を図る（令和2年3月実施予定）。		
	一畑バス（株） 大社系統	上塩冶車庫～大社連絡所		A	A			
	一畑バス（株） 大社系統	上塩冶車庫～大社連絡所（北回り）		A	A			
	一畑バス（株） 大社系統	出雲市駅～大社連絡所（イオン経由）		A	A			
	石見交通（株） 小浜江崎系統	医光寺前～江崎港（須佐駅前）	地域のイベント等へ参加しバスPRに努めた。 ゴールデンウィーク小児運賃無料イベント、石見交通路線バス乗り放題乗車券「いわみフリーきっぷ」の発売（年2回）を実施した。 絵画バスの運行を実施した。 減便を行い収支改善に努めた。	A	A	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め利用促進を行う。 イベント等に参加しPR活動を続ける。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 数値目標として設定した輸送量を達成することはできなかった系統もあったが、いわみフリーきっぷなどの設定、バス教室やイベント参加による利用促進や、系統の見直しなどの輸送効率化に努めており、今後の利用者増加に期待したい。	
	石見交通（株） 津和野系統	医光寺前～津和野温泉		A	A			
	石見交通（株） 匹見系統	医光寺前～匹見峡温泉（匹見上）		A	A			
	石見交通（株） 都茂系統	益田駅前～二川		A	B			
	石見交通（株） 浜田益田系統	石見交通本社前～浜田駅前		A	A			
	石見交通（株） 弥栄系統	浜田駅前～弥栄支所		A	A			
	石見交通（株） 有福系統	周布～江津駅前 （有福温泉）		A	A			
	石見交通（株） 周布江津系統	周布～江津駅前 （西波子）		A	B			
	石見交通（株） 大田江津系統	大田市立病院前～済生会病院		A	A			
	石見交通（株） 江津川本系統	済生会病院（江津高校前）～石見川本		A	B			
	石見交通（株） 広益系統	石見交通本社前～広島新幹線口（清流ライン　高津川号）		A	B			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通確保対策協議会	日ノ丸自動車（株） 松江系統	米子駅～松江営業所	・通学以外での利用の少ない学生の将来的な需要増を狙い、学割定期券（ステップ定期券）を提示した場合、路線バス全線100円で乗車可能な特殊普通旅客運賃（営業割引）を期間限定で設定し利用促進に努めた。 ・バスカードの利用促進（沿線の商店街と提携し使用済みバスカードを持参すると割引を受けられる）を行い買い物客を取り込むことで、利用者数の維持に努めた。 ・松江市一斉ノーマイカーウィークにあわせたバスまつり期間中に小学生以下のバス運賃を無料としてバス利用の促進を図った。 ・外国人観光客向け山陰周遊パス「Visit San'in Tourist Pass」実証事業に参画し、外国人旅行者のバス利用を促進した。 ・小中学生のバス利用、活動範囲の拡大、歴史、文化、体育施設利用の促進を図り、一人でも多くのバス利用者を確保するため「夏休み応援定期乗車券」を夏休み期間限定で設定した。	A	A	・学生需要の取り込みを積極的に行い将来的な利用増を含めた利用促進を図る。 ・バスカードの利用促進を図り利用者の維持に努める。 ・地域イベントに参加し、バスのPRに努めるとともに、バスの乗り方教室を行い、将来的な需要増を図る。 ・生産性向上の取組を実施し、利用促進に努める。	※鳥取県の記載と同様	
	一畑バス(株) 万原線 大社線	車両減価償却費 ノンステップバス　2両	計画どおりノンステップバス2両の導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバスの導入を進める。	補助対象系統の運行に必要な車両について計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する現行目標は令和2年度までにノンステップバス割合が70%となっており、現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。	
	石見交通(株) 浜田益田線 有福線・周布江津線・江津川本線 有福線・周布江津線・江津川本線 広益線	車両減価償却費 ノンステップバス　3両 都市間連絡用バス　2両	計画どおりノンステップバス3両、都市間連絡用バス2両の導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバスの導入を進める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和2年2月20日
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通対策地域協議会	（株）井笠バスカンパニー 笠岡～矢掛系統	笠岡～矢掛	他モードとの乗継を確保し、運行実態を反映した時分設定の見直し、定時制の確保等、利便性の向上による利用促進に取り組んだ。	A	B	他モードとの乗継を確保するとともに、運行実態を反映した時分設定に見直し、定時制を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 収支率の目標を達成できていない系統もあるが、経常費用の悪化もあり、運送収入・輸送人員は増えている系統もあるので一定の評価はできる。他モードとの乗継やダイヤ設定など、関係協議会とも連携のうえ引き続き利用促進に取り組んでもらいたい。	
	（株）井笠バスカンパニー 井原～福山系統	井原～福山	ICカード対応車両で利用者の利便性向上を図るとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	B	ICカード対応車両を増車し、利用者の利便性向上を図るとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	（株）井笠バスカンパニー 井原～笠岡系統	井原～笠岡	引き続き他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	B	他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	（株）井笠バスカンパニー 新倉敷～寄島系統	新倉敷～寄島	他モードとの乗継を確保し、運行実態を反映した時分設定の見直し、定時制の確保等、利便性の向上による利用促進に取り組んだ。	A	B	他モードとの乗継を確保するとともに、運行実態を反映した時分設定に見直し、定時制を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施		
	（株）井笠バスカンパニー 篠坂～福山系統	篠坂～福山	引き続き利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	B	利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	下津井電鉄（株） A-2岡山線系統	天満屋～JR児島駅	バスロケデータを活用した適正な運行ダイヤの見直しをH30.10に実施した。	A	B	当該系統沿線住宅地への時刻表ポスティングの拡充実施とHPを活用し病院・学校等の施設案内の実施し観光素材のイベントパンフレット等を車載し次年度収支率65．0%を目標とする。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標輸送人員に達していない系統もあるが、イベント周知やバスロケを活用して運行の最適化を図るなど評価できる。 今後も引き続き関係自治体と協力しながら地域交通の確保に努めると共に、利用促進を行っていただきたい。	
	下津井電鉄（株） D-19茶屋町系統	倉敷駅～下電興除車庫	バスロケデータを活用した適正な運行ダイヤの見直しをH30.10に実施した。	A	B	当該系統沿線住宅地への時刻表ポスティングの拡充実施とHPを活用し病院・学校等の施設案内の実施し観光素材のイベントパンフレット等を車載し次年度収支率82．0%を目標とする。		
	下津井電鉄（株） S-5瀬戸大橋線系統	S-5瀬戸大橋線系統 JR児島駅～瀬戸大橋FW前	エコドライブの積極的な実施と観光素材のイベント告知パンフレットの車載を実施した。	A	B	倉敷市・坂出市地区の観光素材のイベントパンフレットを車載し、観光客の取り込みを強化する事で、収支率57．0%を目標とする。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通対策地域協議会	中鉄バス（株） 40佐山リハビリ系統	天満屋BC～リハビリセンター前	昨年10月に乗降調査を実施し、運行ダイヤの見直しを検討したが、実施には至っていない。	A	B	関係自治体と連携し、路線沿線施設を活用した利用促進に取り組む。	計画どおり適切に運行されており、評価できる。 経常費用の上昇により収支率が悪化しているが、輸送人員の目標は達成しており一定の評価はできる。学生利用をはじめ、引き続きニーズの把握やバスロケの導入により利便性を向上させるなど利用促進に取り組んで頂きたい。	
	中鉄北部バス（株） 58・60・85系統	津山～行方	6月に乗降調査を実施して利用状況を把握し、10月にダイヤ改正を実施した。	A	B	奈義町営さと丸デマンド交通との乗り継ぎ特典をPRして利用促進を図るとともに、奈義町現代美術館入場券とのセット乗車券を設定する等し、観光需要の取り込みを図っていく。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 目標数値に達していないが、コミュニティバスとの接続など利便性の向上に努めてもらい、今後も引き続き関係自治体と協力しながら地域交通の確保に努めると共に、利用促進を行っていただきたい。	
	中鉄北部バス（株） 145（高）勝山系統	岡山～勝山	真庭市が作成した公共交通マップ及び時刻表をバス車内に備付け、コミュニティバスとの乗り継ぎの利便性をPRした。	A	B	引き続き真庭市が作成した公共交通マップ及び時刻表をバス車内に備付け、コミュニティバスとの乗り継ぎの利便性をPRする等し、利用促進に努めていく。		
	備北バス（株） 呰部系統	高梁駅～塩坪～呰部	関係自治体と連携し、高校生を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生及び中学生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・真庭市と連携し利用促進に取り組み収支率56%台を目指していきたい。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 通学や通院、県内中心地との接続等、重要な目的を持つ路線を維持していく中で、中山間地の少子高齢化に対応していくため、今後とも関係自治体との連携を密にし、利用促進策について協議を行っていただきたい。	
	備北バス（株） 吉川系統	高梁駅～リハビリセンター～吉川	昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・吉備中央町と連携し利用促進に取り組み収支率52%台を目指していきたい。		
	備北バス（株） 岡山系統	地頭～古町～岡山	昨年度に引き続き往復利用割引運賃制度及び愛カードの広報を行い利用促進を行った。	A	B	当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物を主とした路線であり、今後も高梁市・総社市及び岡山市と連携し利用促進に取り組み収支率48%台を目指していきたい。		
	備北バス（株） 地頭系統	地頭～古町～高梁駅	昨年度に引き続き高校生の通学補助及び愛カードの広報を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者は、高校生の通学と病院への通院及び買い物への利用が多く、今後も高梁市と連携し利用促進に取り組み収支率46%台を目指していきたい。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通対策地域協議会	(株)美作共同バス 大原駅～湯郷温泉～勝間田駅系統	大原駅～湯郷温泉～勝間田駅	利用者の増加を目指して、一部時刻の変更行う。また、高校、専門学校と連携を図り、定期券の利用促進に取り組む。	A	B	自治体と連携して、パンフレット、チラシ、インターネット等を活用した情報発信に取り組む。	計画どおり適切に運行されており、評価できる。 運行経路に病院や保健センターもあることから、バスを利用しやすい環境を整えるため車両の更新について計画的にすすめて頂きたい。 また、学校まで交通としての利用もあり、自治体や学校と連携して新入生の新規需要開拓にも積極的に取り組んで頂きたい	
	両備ホールディングス(株) 74牛窓北線系統	西大寺～邑久駅～牛窓	両備バス1Dayフリー乗車券を継続して販売（牛窓エリアをモデルコースとしてチラシに掲載） 夏休み前にサマーキッズパスのチラシを、瀬戸内市の協力を得て沿線小・中学校に配布 JR邑久駅での乗換アクセス向上のため、2019年4月にダイヤ改正を実施	A	B	邑久～牛窓間の観光利用の施策を検討する。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 イベント周知やフリー乗車券など利用促進を行っているが、今後の利用者増加のためには、乗合タクシー、コミュニティバスと更なる連携を図る必要があることから関係者との引き続き協議頂き、幹線系統としての役割を果たして頂きたい。	
	両備ホールディングス(株) 76牛窓南線系統	西大寺～西大寺駅・神崎～牛窓	両備バス1Dayフリー乗車券を継続して販売（牛窓エリアをモデルコースとしてチラシに掲載） 夏休み前にサマーキッズパスのチラシを、瀬戸内市の協力を得て沿線小・中学校に配布	A	B	瀬戸内市営バスとの接続による利便性向上策を検討し、通院や買い物利用の維持、増加と一層の収支改善に努める。		
	両備ホールディングス(株) 212鉾立線系統	岡山駅前～鉾立	両備バス1Dayフリー乗車券を継続して販売 夏休み前にサマーキッズパスのチラシを、玉野市の協力を得て市内全小・中学校に配布	A	B	収入増加に繋がる沿線イベントとの連携の検討及び玉野市内乗合タクシーとの連携による利便性向上を図る。		
	両備ホールディングス(株) 218上山坂線系統	岡山駅前～宇野駅前	両備バス1Dayフリー乗車券を継続して販売 夏休み前にサマーキッズパスのチラシを、玉野市の協力を得て市内全小・中学校に配布	A	A	運行時刻の見直しや玉野市内乗合タクシーとの連携による利便性向上を図る。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通対策地域協議会	両備ホールディングス（株） 74牛窓北線系統 西大寺～邑久駅～牛窓	車両減価償却費 ワンステップバス2両導入 平成25年度1両 平成26年度1両	計画通り事業は適切に実施された。	A	A	今後車両更新についてノンステップバスの導入に努める。	補助対象系統の運行に必要な車両について計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する現行目標は令和2年度までにノンステップバス割合が70%となっており、現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。	
	両備ホールディングス（株） 76牛窓南系統 西大寺～西大寺駅・神崎～牛窓		計画通り事業は適切に実施された。	A	A	今後車両更新についてノンステップバスの導入に努める。		
	両備ホールディングス（株） 212鉾立線系統 岡山駅前～鉾立	車両減価償却費 ワンステップバス2両導入 平成26年度2両	計画通り事業は適切に実施された。	A	A	今後車両更新についてノンステップバスの導入に努める。		
	両備ホールディングス（株） 218上山坂線系統 岡山駅前～宇野駅		計画通り事業は適切に実施された。	A	A	今後車両更新についてノンステップバスの導入に努める。		
	中鉄北部バス（株） 岡山～勝山線	車両減価償却費 都市間連絡用バス1両導入 平成30年度1両	本年度は車両代替を実施しなかった。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。		
	（株）井笠バスカンパニー 笠岡～矢掛系統 井原～福山系統 井原～笠岡系統 新倉敷～寄島系統 篠坂～福山系統	車両減価償却費 ノンステップバス等10両継続、2両新規導入	計画通り車両代替を進めていく。	A	A	今後車両更新についてノンステップバスの導入に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和2年2月20日
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
山口県生活交通確保維持改善協議会	防長交通(株) 徳山駅前～快）～新岩国駅～岩国駅前系統	徳山駅前～快）新岩国駅～岩国駅前系統	H31.3.16に列車との接続便についてダイヤ改正を実施した。 関係自治体と連携して利用しやすいダイヤ改正を実施した。 各イベントでのバス展示、バス乗り方教室の開催、小児運賃一律50円キャンペーン等、バス利用促進に取り組み生活交通路線の維持を図った。 バスロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図った。	A	C	引き続き、バス利用促進につながるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用しやすいバスを目指していく。 また、引き続き各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券等PRに努めていく。 バスロケーションシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 山口県では利用促進策として、乗り方教室の実施、総合時刻表の随時改定、イベントへの参加、ノーマイカーデーに公共交通利用を促すなどの取組、バスロケーションシステムの導入による利便性の向上等、バス利用者増につながる取組を行っている点は評価でき、今後も各種イベントを検討・協議して利用促進を図ることを期待する。 数値目標には達していないものも見受けられ、利用促進への効果があったもの・なかったものの分析等を行い、今後、更なる利用促進を行ってもらいたい。	
	防長交通(株) 徳山駅前～快）～柳井駅前系統	徳山駅前～快）～柳井駅前		A	B			
	防長交通(株) 徳山駅前～防府駅前系統	徳山駅前～防府駅前		A	B			
	防長交通(株) 柳井駅前～イオン・平生～上関系統	柳井駅前～イオン・平生～上関		A	B			
	防長交通(株) 大畠駅～周防久賀～町立橘病院前系統	大畠駅～周防久賀～町立橘病院前		A	B			
	防長交通(株) 大畠駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橘病院前系統	大畠駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橘病院前		A	B			
	防長交通(株) 徳山駅前～バイパス・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛系統	徳山駅前～バイパス・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛		A	B			
	防長交通(株) 徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの系統	徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの		A	A			
	防長交通(株) 徳山駅前～ソレーネ・湯野～柚木河内系統	徳山駅前～ソレーネ・湯野～柚木河内		A	B			
	防長交通(株) 堀～中山～防府駅前系統	堀～中山～防府駅前		A	A			
	防長交通(株) 県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘系統	県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘		A	B			
	防長交通(株) 県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅	県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅		A	A			
	防長交通(株) 新山口駅～大田～東萩駅前系統	新山口駅～大田～東萩駅前		A	B			
	防長交通(株) 萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前系統	萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前		A	B			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
山口県生活交通確保維持改善協議会	サンデン交通（株） 北浦線	下関駅～唐戸～川棚温泉	H30.10.1にダイヤ改正を実施、運行系統の整理・運番削減等を行い効率的な運行に努めた。 H31.03.31より小月駅、城下町長府、東駅、山の田バス停にデジタルサイネージの設置、利便性の向上に努める。 また、引き続き、新入生お試し券（100円券）の配布による新入生のバス利用促進を図った。 その他、小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題パスへの免許返納者向け割引の設定、新入小学生や敬老会へのバス乗り方教室の実施、「下関観光1日フリー乗車券」「休日おでかけ1dayパス」のスマートフォン決済の導入、など利用者に便利な割引切符の販売等により、バス利用促進をPRした。 美祢市再編実施計画に従い、「下関駅～小月駅～秋芳洞」系統を美祢駅で止め生産性の向上に努めた。	A	B	引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。 また、関係市と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、新入生お試し券（100円券）の配布による学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、スマートフォン決済によるお得な割引切符の販売により、利用者の拡大に力を入れていく。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 学生利用への対策を様々な方法で実施していることも評価できる。 今後も引き続きバス利用促進の方策を検討し、再編実施による関係市町と連携してより利用しやすいバス路線として維持していただくことを期待したい。	
	サンデン交通（株） 北浦線	下関駅～豊洋台3丁目～川棚温泉		A	B			
	サンデン交通（株） 国道線	下関駅～小月局前～フジグラン宇部		A	B			
	サンデン交通（株） 国道線	彦島営業所～小月駅～宇部中央		A	B			
	サンデン交通（株） 国道線	下関駅～小月駅～宇部中央		A	B			
	サンデン交通（株） 国道線	下関駅～小月駅～小野田駅		A	B			
	サンデン交通（株） 仙崎線・準	下関駅～小月駅～大泊		A	B			
	サンデン交通（株） 下関・豊田線	下関駅～下大野～豊田町西市		A	A			
	サンデン交通（株） 美祢線	下関駅～小月駅～美祢駅		A	B			
	サンデン交通（株） 美祢線	下関駅～ゆめ・小月駅～美祢駅		A	B			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
山口県生活交通確保維持改善協議会	船木鉄道（株） 小野田線（本山）	船木～本山岬 船木～サンパーク～本山岬 船木～労災病院～本山岬 船木～労災病院～サンパーク～船木	H30.10.1に労災病院の乗入、ダイヤ改正を実施し電車との接続の利便性をよくし、効率的な運行に務めた。 その他イベント参加、乗り方教室の実施、時刻冊子の配布、こもれびの郷接続の時刻表作成などPR活動を行った。	A	A	グーグルマップへの時刻表の掲載をおこない利便性の向上を目指す。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 事業展開を行っている地域では近隣他社と競合している路線が多いが、補助系統以外も含め、関係市町村とも協議しながら、コミュニティ交通との連携を図りつつ、利便性の向上に繋がる施策や路線維持の方策を検討していただくことを期待したい。	
	船木鉄道（株） 宇部線	船木～宇部市役所	H30.10.1にダイヤ改正を実施し電車との接続の利便性をよくし、効率的な運行に務めた。 その他イベント参加、乗り方教室の実施、時刻冊子の配布、こもれびの郷接続の時刻表作成などPR活動を行った。	A	A			
	船木鉄道（株） 厚狭線	厚狭駅～宇部中央 厚狭駅～サンパーク～宇部中央 厚狭駅～労災病院～宇部中央 厚狭駅～労災病院～サンパーク～宇部中央	H30.10.1に労災病院の乗入、ダイヤ改正を実施し電車との接続の利便性をよくし、効率的な運行に務めた。 その他イベント参加、乗り方教室の実施、時刻冊子の配布、などPR活動を行った。	A	A			
	船木鉄道（株） 美祢線	美祢市立病院～秋吉～美東病院～大田中央 美祢駅～秋吉～美東病院～大田中央 美祢駅～秋吉～大田中央		A	A			
	船木鉄道（株） 美祢線	美祢駅～秋吉 美祢駅～秋吉～秋芳洞		A	A			
	石見交通㈱ 小浜江崎線	医光寺～日赤・温泉～江崎港（須佐駅前）	利用促進につながるようPRに努めたい。	A	A	引き続き、利用促進につながるようPRに努めたい。	※島根県の記載と同様	
	石見交通㈱ 広益線（統合後）	石見交通本社前～（清流ライン高津川号）～広島新幹線口	利用促進につながるようPRに努めたい。	A	B	引き続き、利用促進につながるようPRに努めたい。	※島根県の記載と同様	
	宇部市交通局 新山口線（特急）	宇部新川駅～山口宇部道路～新山口駅	路線維持のため、バス停車表の停留所掲示や時刻冊子の配布など、PRに取り組んだ。 また、バスオリエンテーリングや乗り方教室を実施し、生活交通路線の維持に取り組んだ。 また、バスロケーションシステムのサイネージを増設し、新規利用者の獲得に努めた。	A	A	引き続き、バス利用促進につながるよう、時刻表の改善や各種イベントへの参加、乗り方教室の実施等により、PRに努める。 また、導入したバスロケーションシステムのサイネージを増設することにより、新規利用者の獲得に努める。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 宇部市において、地域公共交通再編実施計画に基づき、今後も引き続き、関係自治体等と協議していただき、バスロケーションシステムの導入による利便性の向上、乗り方教室などによる利用促進のほか、利用者の声を収集しサービス向上に努めており、引き続きこれらの取組を実施してもらい、新規需要開拓を目的とした取り組みも継続していただきたい。	
	宇部市交通局 新山口線（普通）	宇部新川駅～サンパークあじす・東岐波商業団地前～新山口駅新幹線口		A	A			
	宇部市交通局 阿知須線	宇部新川駅～今村～サンパークあじす		A	B			
	宇部市交通局 阿知須線	宇部新川駅～今村・ミスターマックス宇部店～サンパークあじす		A	B			
	宇部市交通局 小野田線	小野田営業所～大学病院前～常盤町二丁目		A	A			
	宇部市交通局 西ヶ丘日赤線	西ヶ丘～ゆめタウン宇部～日赤前		A	A			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
山口県生活交通確保維持改善協議会	中国ジェイアールバス（株） D-52系統	下松タウンセンター前～室積公園口	H31.3.16のダイヤ改正で、列車、バスとの接続を考慮したダイヤ編成を行った。 やまぐちバス博などのイベント参加、各自治体などの依頼によるバス乗り方教室の実施など、地域と協力した取り組みを行い、生活交通路線の維持を図った。	A	C	引き続き、乗り継ぎ利便の向上、適正な所要時分となるよう、ダイヤ改正を実施する。バス乗り方教室やイベントへの参加を通じて地域と連携し、生活交通路線の維持を行う。利用者の利便性向上を図るため、バスロケーションシステム活用について周知を図る。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 利用する系統が補助系統であることを利用者に認識してもらうことで積極的な公共交通の利用を促す意識啓発につながることを期待したい。 利用促進策として先駆的にバスの乗り方教室を学校等と連携しながら実施していることや、やまぐちバス博などのイベント参加など、将来のバス利用者増につながる取り組みを行っており、今後も各種イベントを検討・協議して利用促進を図ることを期待する。	
	中国ジェイアールバス（株） D-74系統	山口～昭和町・ゆめタウン 山口～防府	H31.3.16のダイヤ改正で、列車、バスとの接続を考慮したダイヤ編成を行った。 ダイヤ改正時に補助を受けていることを表記した時刻表を、山口市報配布時に折り込みを行い、沿線の地域住民に配布し、周知を行った。 やまぐちバス博などのイベント参加、各自治体などの依頼によるバス乗り方教室の実施など、地域と協力した取り組みを行い、生活交通路線の維持を図った。	A	A	引き続き、乗り継ぎ利便の向上、適正な所要時分となるよう、ダイヤ改正を実施する。また、山口市報へ補助路線が含まれているという一文を記載した時刻表を折り込むなど、地域住民への路線周知を図るとともに、バス乗り方教室やイベントへの参加を通じて地域と連携し、生活交通路線の維持を行う。利用者の利便性向上を図るため、バスロケーションシステム活用について周知を図る。		
	中国ジェイアールバス（株） D-77系統	防府～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～中尾口		A	B			
	中国ジェイアールバス（株） D-109系統	防府～ゆめタウン山口・県庁～・湯田温泉通～山口大学		A	A			
	中国ジェイアールバス（株） D-128系統	湯田温泉駅～山口・県庁・野田・明倫センター～東萩	H31.3.16のダイヤ改正で、列車、バスとの接続を考慮したダイヤ編成を行った。 ダイヤ改正時に補助を受けていることを表記した時刻表を、山口市報配布時に折り込みを行い、沿線の地域住民に配布し、周知を行った。 やまぐちバス博などのイベント参加、各自治体などの依頼によるバス乗り方教室の実施など、地域と協力した取り組みを行い、生活交通路線の維持を図った。	A	B	引き続き、乗り継ぎ利便の向上、適正な所要時分となるよう、ダイヤ改正を実施する。また、山口市報へ補助路線が含まれているという一文を記載した時刻表を折り込むなど、地域住民への路線周知を図るとともに、バス乗り方教室やイベントへの参加を通じて地域と連携し、生活交通路線の維持を行う。利用者の利便性向上を図るため、バスロケーションシステム活用について周知を図る。R1.10より「道の駅あさひ」乗り入れを実施し、利便性向上を図る。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	防長交通（株） 徳山駅前～快）新岩国駅～岩国駅前 徳山駅前～快）～柳井駅前 徳山駅前～防府駅前 柳井駅前～イオン・平生～上関 大畠駅～周防久賀～町立橘病院前 大畠駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橘病院前 徳山駅前～バイパス・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの 徳山駅前～ソレーネ・湯野～柚木河内 堀～中山～防府駅前 県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘 県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅 新山口駅～大田～東萩駅前 萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前	車両減価償却費 ノンステップバス　25両導入 平成27年度導入分＝3両 平成28年度導入分＝6両 平成29年度導入分＝6両 平成30年度導入分＝6両 令和元年度導入分＝4両	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	令和3年9月末までに58％以上という目標に向けて、今後も計画通り車両代替を進めていく。	補助対象系統の運行に必要な車両について計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する現行目標は令和2年度までにノンステップバス割合が70％となっており、現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果 ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	協議会における事業評価結果 ④事業実施の適切性	協議会における事業評価結果 ⑤目標・効果達成状況	協議会における事業評価結果 ⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果 評価結果	備考
山口県生活交通確保維持改善協議会	サンデン交通（株） 国道線、西市線 美祢線、北浦線 仙崎線	車両減価償却費 ノンステップバス　10両導入 平成27年度導入分＝2両 平成28年度導入分＝2両 平成29年度導入分＝2両 平成30年度導入分＝2両、都市間高速1両 平成31年度導入分＝2両	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	ノンステップバスの保有化率を令和2年までに70％以上にするよう目標を上方修正、引き続き計画的な導入を促進し目標達成を目指す。	補助対象系統の運行に必要な車両について計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する現行目標は令和2年度までにノンステップバス割合が70％となっており、現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。	
	船木鉄道（株） 本山線 宇部線 厚狭線	車両減価償却費 ノンステップバス5両導入 平成27年度導入分＝1両 平成28年度導入分＝1両 平成29年度導入分＝1両 平成30年度導入分＝1両 令和元年度導入分＝1両	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。		
	石見交通（株） 広益線	車両減価償却費 都市間連絡用2両導入	計画通り導入が図れるよう努めた。	A	A			
	宇部市交通局 新山口線 阿知須線 小野田線	車両減価償却費 ノンステップバス導入 平成27年度導入数＝3両 平成28年度導入数＝3両 平成29年度導入数＝2両 平成30年度導入数＝2両 令和元年度導入数＝1両	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。		
山口県生活交通確保維持改善協議会	中国ジェイアールバス（株） D74系統 D77系統 D109系統 D128系統	車両減価償却費 ワンステップバス導入 平成26年度導入分＝0両 平成27年度導入分＝3両 ノンステップバス導入 平成28年度導入分＝1両 平成29年度導入分＝0両 平成30年度導入分＝0両 令和元年度導入分＝2両	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めていく。		